



# がっこう 学校だより

がっこう  
11月号



**Challenge  
Dream  
Interaction**

れいわがねん がつ か  
令和元年10月31日  
よこはましりつかみいだしょうがっこう  
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

## 校外学習の引率を通して

ふくこうちょう ばんの ひとし  
副校長 伴野 均

10月は、校外学習の引率の機会に恵まれました。1年生の大池公園遠足、2年生の新江ノ島水族館遠足、5年生の三浦宿泊体験学習の3つでした。どの行事も子どもたちがめあてに向かって頑張る姿が見られ、価値ある活動となりました。さて、めあてとはどのようにして作られていくのでしょうか。まずは児童の実態把握です。現時点の子どもたちは、何ができどんなことに強いのか、また、今、身に付けさせていきたい課題はどこにあるのかななどを検討します。そして、学年としての望ましい発達段階や教師の思いや願いを入れて、活動のねらいを決めていきます。次にこの教師側のねらいを子どもたちに伝えながら、子どもたちの思いを育み、めあてをつくり上げていきます。ここが指導のポイントで、いかに子どもたちが自分事としてとらえ主体的に行動していくかで、活動を通しての子どもたちの成長が決まってきます。ですから、児童代表としての実行委員を立てるなどして、事前の活動を充実させながら進めていくことになるのです。このようにすべての教育活動にはねらいがあります。

当日は出発式から始まります。実行委員が役割分担をして司会などを進めます。今回は、どの学年も動作が入ったテーマソングでめあての確認をしていました。楽しみながら心に浸透させていく素敵なアイデアでした。実行委員の子どもたちも満足げな表情で自己有用感を高めたことと思います。

さて、この間の他学年に目を向けてみます。3年生は、ペア学年の5年生に心をこめて作った大きなお守りをプレゼントしました。6年生は、体育大会に向けての早朝練習を行っていましたが、5年生の出発時には、ビクトリーロードを作り、声をかけながら見送りました。4年生は、初めての体験学習に向けてキャンドルファイヤーの練習をする元気な声が体育館から響いていました。

教職員の間では、5年生の担任から三浦宿泊体験学習の報告がありました。病気やけがなどなく元気に2日間を過ごしたこと、天候に左右され大幅な時程変更となったが子どもたちはしっかりと対応し落ち着いた行動がとれたこと、自分たちのめあてを達成させようと主体的に活動にあたったこと、そして『親切・団結・挑戦・笑顔満開』のめあてを達成できたことなどを挙げていました。

教職員からの温かい拍手とともに、みんなで子どもたちの成長を喜び合いました。

職員室では『チーム上飯田』という言葉がよく聞かれます。上飯田小学校は ONE TEAM! これからも子どもたちのために一丸となって取り組んでまいります。